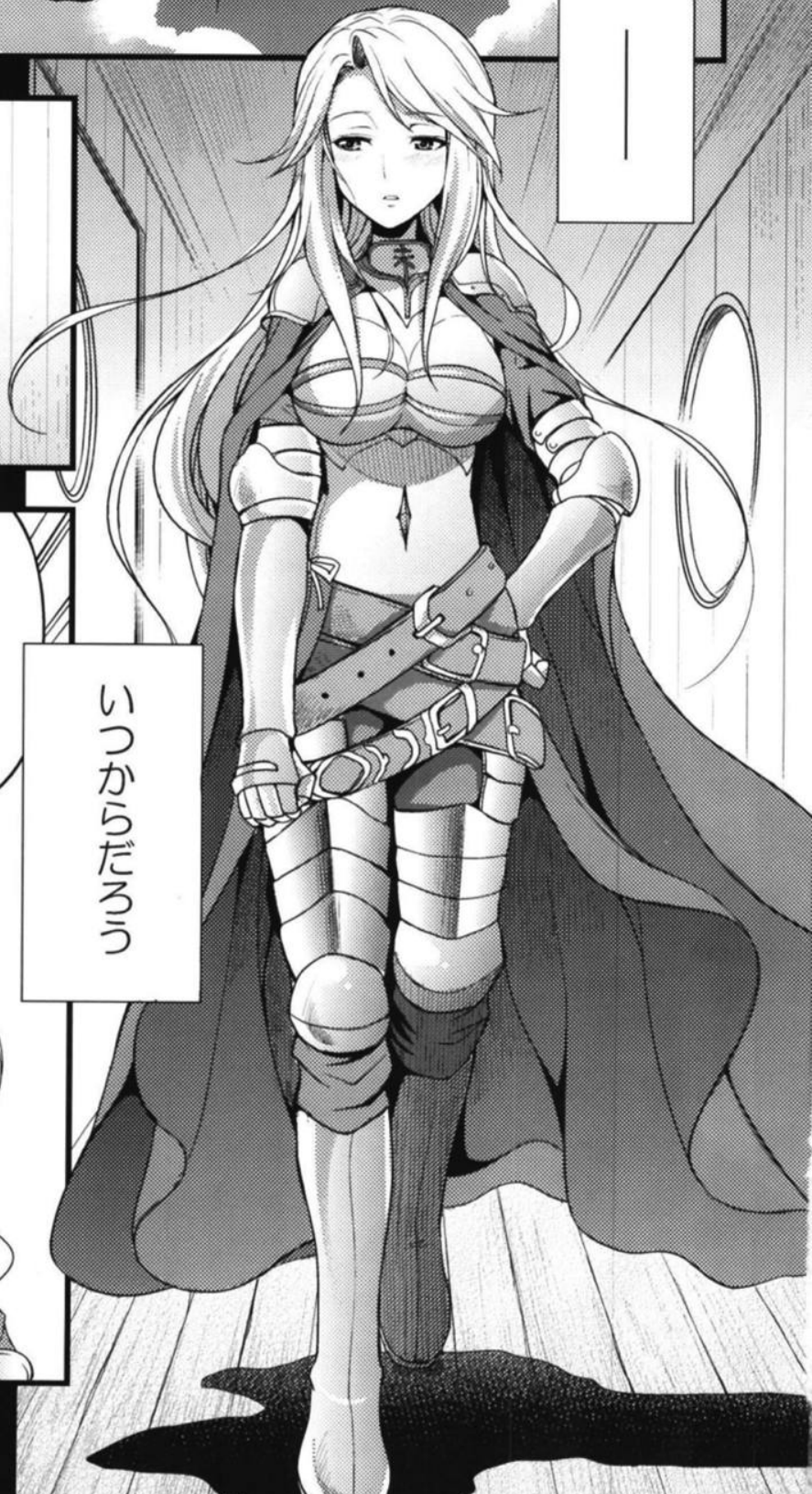
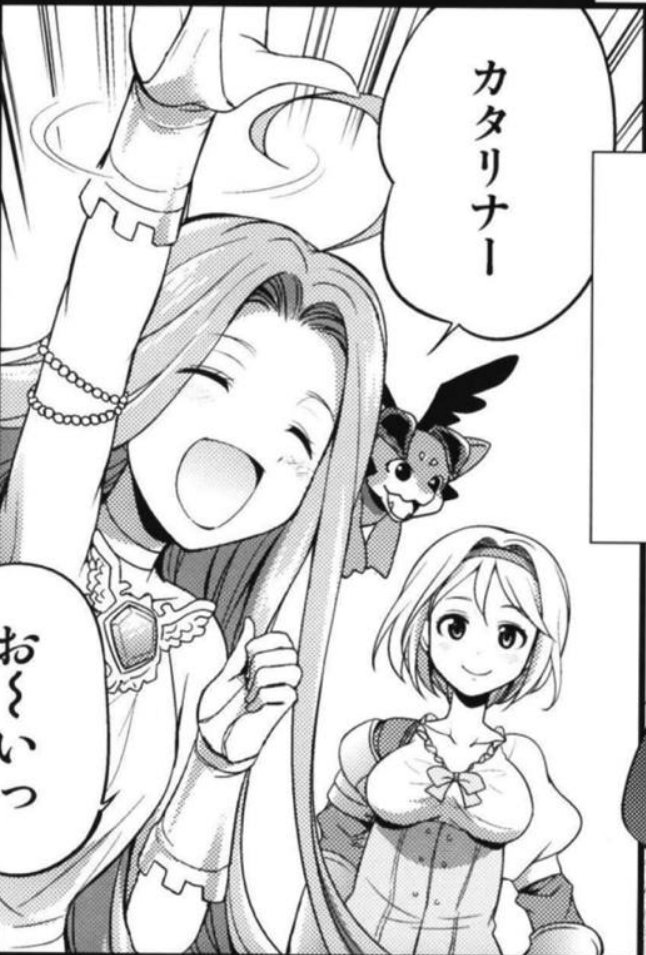
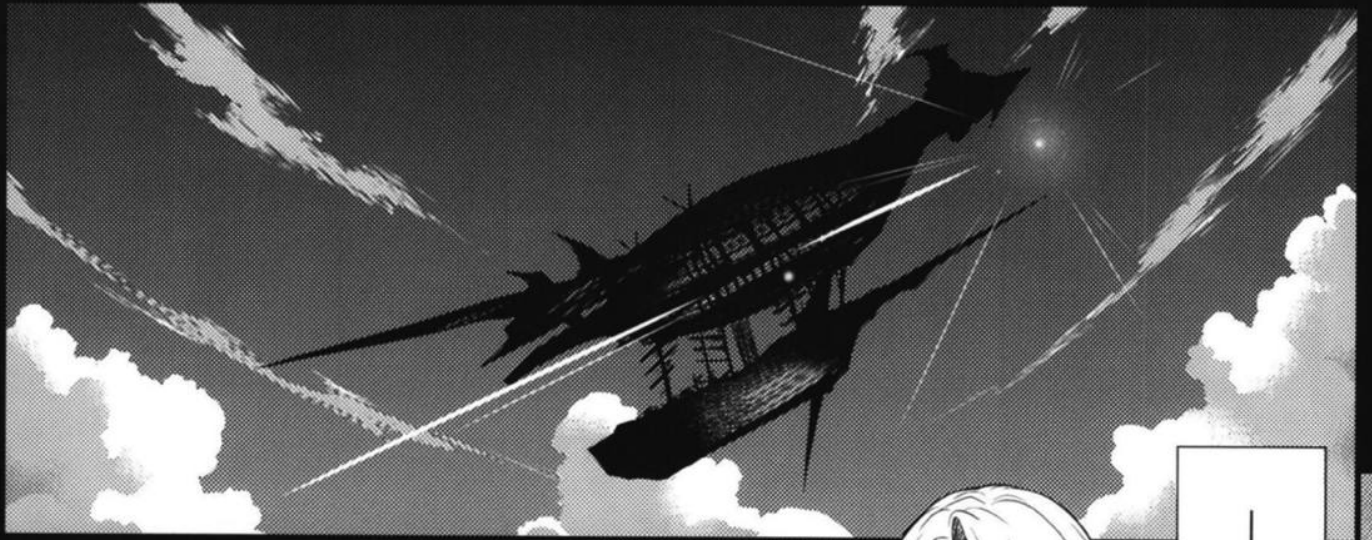


ADULT ONLY



URABULU

フタナードカジンシー



私が帝国から
連れ出した機密の少女

私の…いわば
妹のような存在の
あの娘…

たのしみですわ

はあ

はあ…ん

あっ♡ん♡

その娘に

こんなにも劣情を
催してしまうように
なったのは…

最近では彼女の
ことを妹ではなく

性的対象
として

普段からいやらしい
目で見ることが
多くなっていた

そんな時だ

錬金術の開祖

カリオストロ殿に
出会ったのは



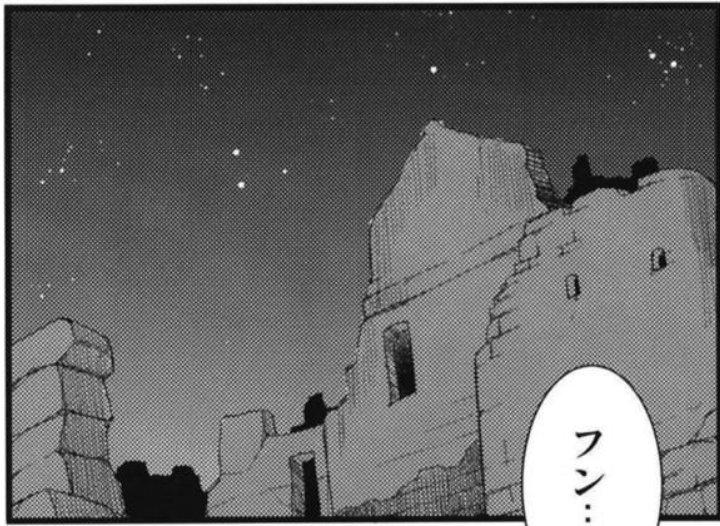
彼女との出会い



それが



全ての—



フン…



日記はここで
終わってやがる



面白くなるのは
ここからだろうが

まったくあいつめ



まあアレを
そのまま書いてたら

日記じゃなくて
ただの官能小説に
なっちまうし
仕方がないんだけど

ネ
♡

はあ〜い
カタリナちゃん♡

実・験・は
順調かな〜♡

あっ

カリオストロ様♡



実験はあ……

おっ

わあ

おっ

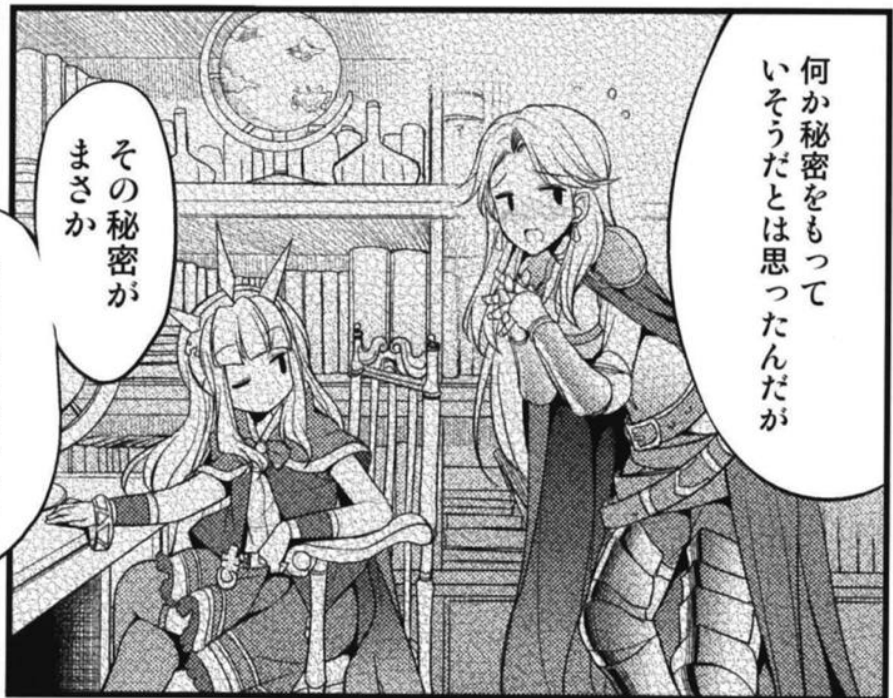
わあ

わあ

おいおい凄えな
もうどんだけ
やってんだよ



女を犯したいって
こととはね



その秘密が
まさか

何か秘密をもって
いそうだとは思ったんだが



無事カタリナチンポ
の完成だ

カタリナの細胞を
もとに再構築し

まあオレ様に
不可能はねエ



どんな女でも

一発でコレだ



あとは仕上げにこの
オレ様特製の
媚薬を使えば…

ああっ♡ルリア♡
またイクよ
いっぱい射精すよ♡

ああっカタリナ
きて♡きて♡
カタリナ千チンポあ♡♡



ああっクソ
こっちにも効いてきた

カタリナ
オレ様も混ぜろっ





はー

はー

はー

はー

はー



ああ…
そんな…

二人がかり
でえ…♡



オし様に

私に

いっぱい
射精して♡





ふぁ♡

はぁああん♡

あんっ♡

ゴッ

ゴッ

ゴッ



超濃厚♡

うへえ…



んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡



やれやれまた
始めやがった

ぬほっ

まったく底なしだな
カタリナは

ぬほっ

ぬほっ

だ…だって
ルリアのおマンコ

気持ち…
よすぎて…♡

まあそのチンポも
特別製だからな

しかしそんなに
激しく犯していたら





一心同体

はー

知ってるだろ
カタリナ

こいつと
ルリアは

な...何故
キミがここに...

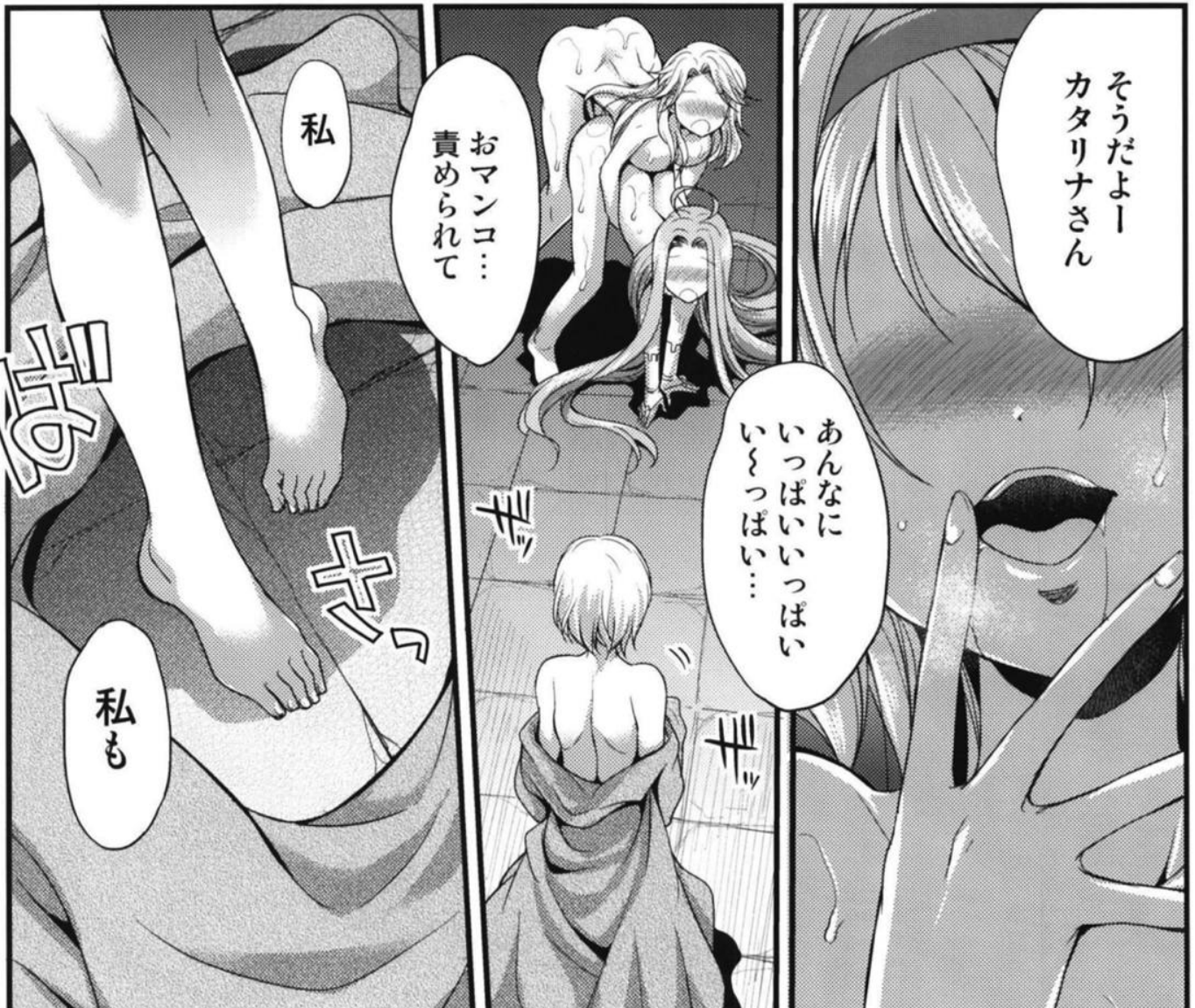
×+



カタリナ

ずっとあなたに
犯され続けて
いたんだ

だからこいつは
ルリアと一緒に



私

おマンコ...
責められて

そうだよー
カタリナさん

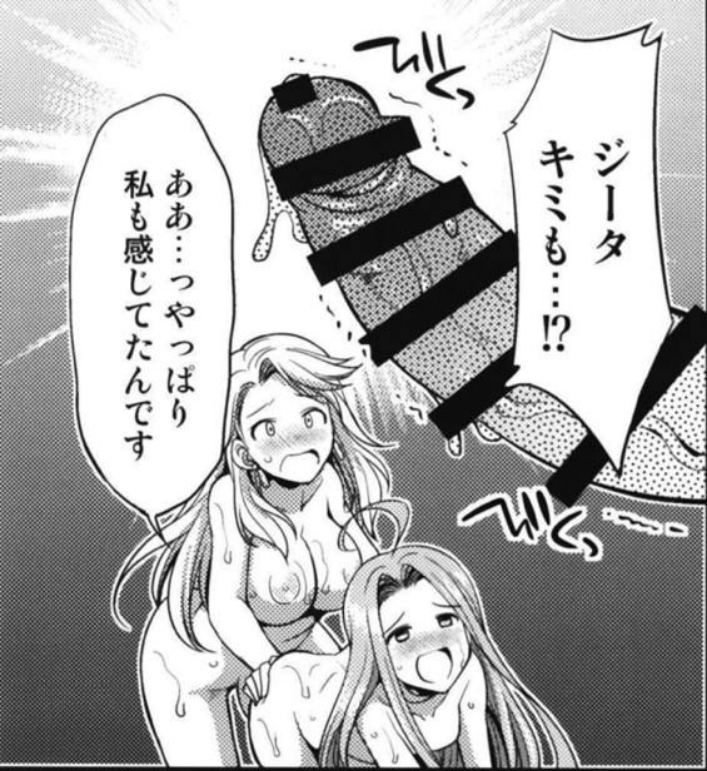
あんなに
いっばい
いっばい
いっばい...

私も

ば

ザッ

ザッ



ああ…っやっぱり
私も感じてたんです

ジータ
キミも…!!

もう限界♡



おチンポ♡
私には
ないはずなのに…

ピンピンに勃起して
苦しかったんです♡



ふふっ…どうだ
面白そうだろう？

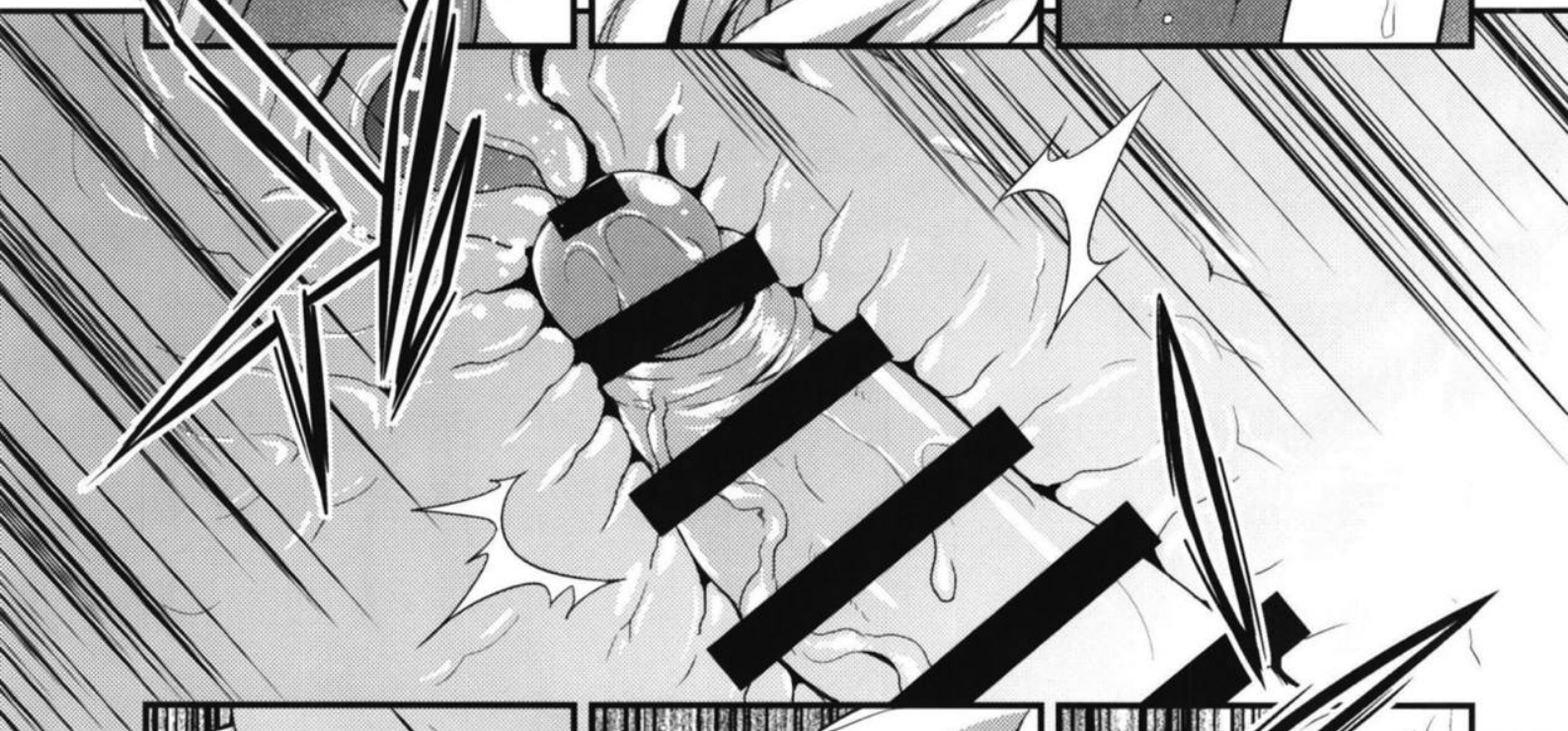
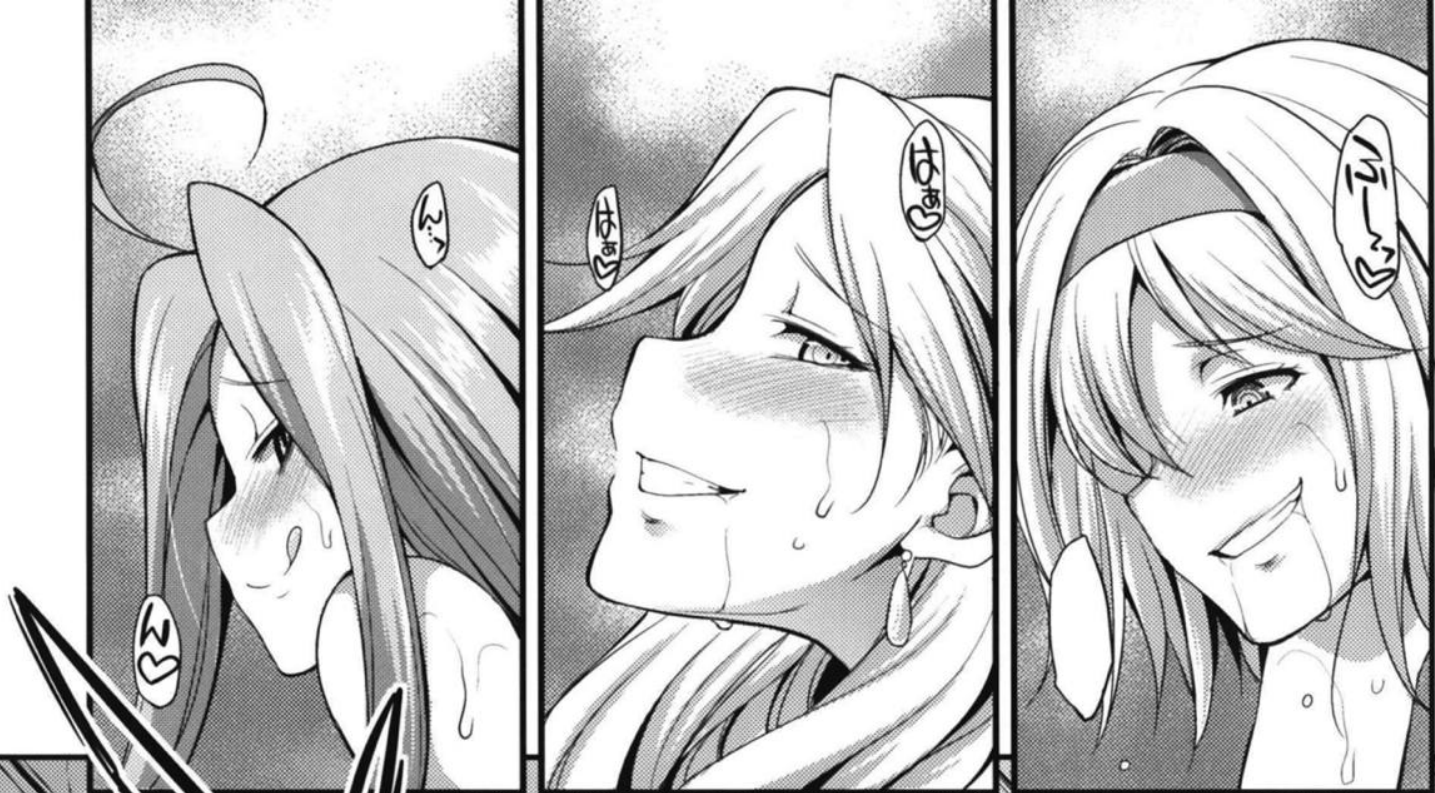
これでこいつがあんたに
入れば三人皆が入れながら
入れていることになる





まるで

ウロボロスだ





おほおおん♡

ああっ私
しゃせーじめる♡

チンポないのに
しゃせーじますっ♡

ジータに射精され
ながらルリアに
膣内射精してるっ♡

感覚だけじゃなくて
ホントにチンポで
犯してくださいっ♡

ああん♡
カタリナさん
今度は私い♡



はぁ♡また
すたじくの...♡♡

射精い♡

イク♡イクイク♡

♡ 恋のスパイス





ジータとばかり
やってないでえ…♡

私たちとも
おチンポしましょ♡

とぉん♡

とぉん♡

とぉん♡

とぉん♡

とぉん♡

ワケが
わからねえ…

オレ様が
生やしたん
だっけ…？

ルリアにも
チンポが…

なんだ
この状況…





なんだ

…いや

簡単なこと
じゃねえか



うん♡
いいよあ♡

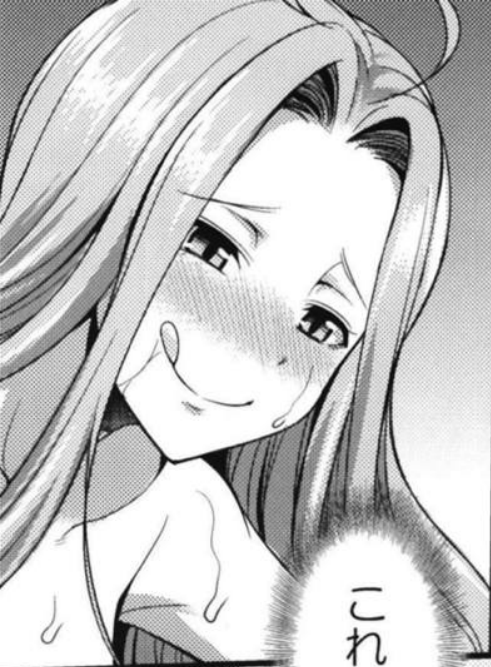
だって

オレ様…うん…



カリオストロ
はあ…

おチンポだあい好き
なんだもん♡



これは



—ああ
終わらない
終われない



本当に—



ウロボロス…だ

奥付け

発行・火愚夜姫工房

<https://www.pixiv.net/member.php?id=889142>

発行日・2018/6/9

描いた人・月下火愚夜

kaguya@sky.117.cx

印刷・ねこのしっぽ様

2018



火燭夜姐工場 PRESENTS